

## SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 2 月 6 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
適切な判断力を持ち、個性を確立すると共に、他者と協働し主体的に社会の持続可能な発展に貢献する人を育てる。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
1. 生徒の主体性と個性を尊重した教育を通し、豊かな感性、確かな知性、健やかな心身の調和のとれた生徒を育てる。 2. 多様な学習ニーズに対応した教育を通し、基礎的・基本的な知識・技能と、生涯にわたって学習に取り組む意欲・態度を持った生徒を育てる。 3. 系統的で適切な指導を通し、より高い目標設定ができる生徒を育てる。 4. 共生・共育を通し、自他の存在を認め合い、人権感覚を持った生徒を育てる。 5. 実社会との接点を重視した教育を通し、持続可能な社会を創造する担い手として、他者と協働し主体的に行動する生徒を育てる。 6. 地域の文化や伝統産業を生かした教育を通し、歴史を尊び地域の発展に貢献する生徒を育てる。 7. 家庭や地域との連携を積極的に図り、健全な勤労観・職業観と、社会の一員としての自覚を持った生徒を育てる。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	協働学習や反転学習などの学習理論に基づいた授業やICT機器の活用を進め、年2回の授業研究会を実施	協働学習や反転学習などの学習理論に基づいた授業やICT機器の活用を進め、年2回の授業研究会を実施した。	協働学習や反転学習などの学習理論に基づいた授業やICT機器の活用を進め、年2回の授業研究会を実施
	特別支援学校との協働を年20回以上実施、多文化共生をテーマとした外部講師による特別授業を実施	特別支援学校との協働を年20回以上実施、多文化共生をテーマとした外部講師による特別授業を実施した。	特別支援学校との協働を年20回以上実施、多文化共生をテーマとした外部講師による特別授業を実施
	校務分掌・教科横断、年次縦貫的な指導体制を確立し、キャリア学習への生徒満足度70%以上を実現	校務分掌・教科横断、年次縦貫的な指導体制を確立し、キャリア学習への生徒満足度84.7%であった。	校務分掌・教科横断、年次縦貫的な指導体制を確立し、キャリア学習への生徒満足度70%以上を実現
	防災減災をテーマに特別授業を実施して、地域防災訓練への生徒参加率65%以上を達成	防災減災をテーマに特別授業を実施した。地域防災訓練への生徒参加率はコロナのために未実施があったため31%だった。	防災減災をテーマに特別授業を実施して、地域防災訓練への生徒参加率65%以上を達成
	エシカル消費やアップサイクル等をテーマとした外部講師特別授業やプロジェクト型授業を実施	エシカル消費やアップサイクル、食品ロス等をテーマとした外部講師特別授業プロジェクト型授業を実施した。	エシカル消費やアップサイクル等をテーマとした外部講師特別授業やプロジェクト型授業を実施
	多様な協働を実践し、年度末（2月）に成果発表会を公開実施	授業、行事を通じて多様な協働を実践した。1月31日に成果発表会を実施した。	多様な協働を実践し、1月に成果発表会を公開実施

（記載上の注意）

- 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	静岡県立駿河総合高等学校	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	11. 教育、学習支援業	
3	従業員（構成員）数	754 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	校長
		氏 名	森谷幹子
5	所 在 地	〒 422-8032	
		静岡市駿河区有東3-4-17	
6	ホームページURL	<a href="http://www.edu.pref.shizuoka.jp/surugasogo-h/home.nsf">http://www.edu.pref.shizuoka.jp/surugasogo-h/home.nsf</a>	